

福島第二原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年4月6日（月）

2 確認箇所

1号機海水熱交換器建屋（地上1階、地下1階）（図1）

3 確認項目

1号機原子炉補機冷却系第2中間ループポンプの復旧作業の実施状況

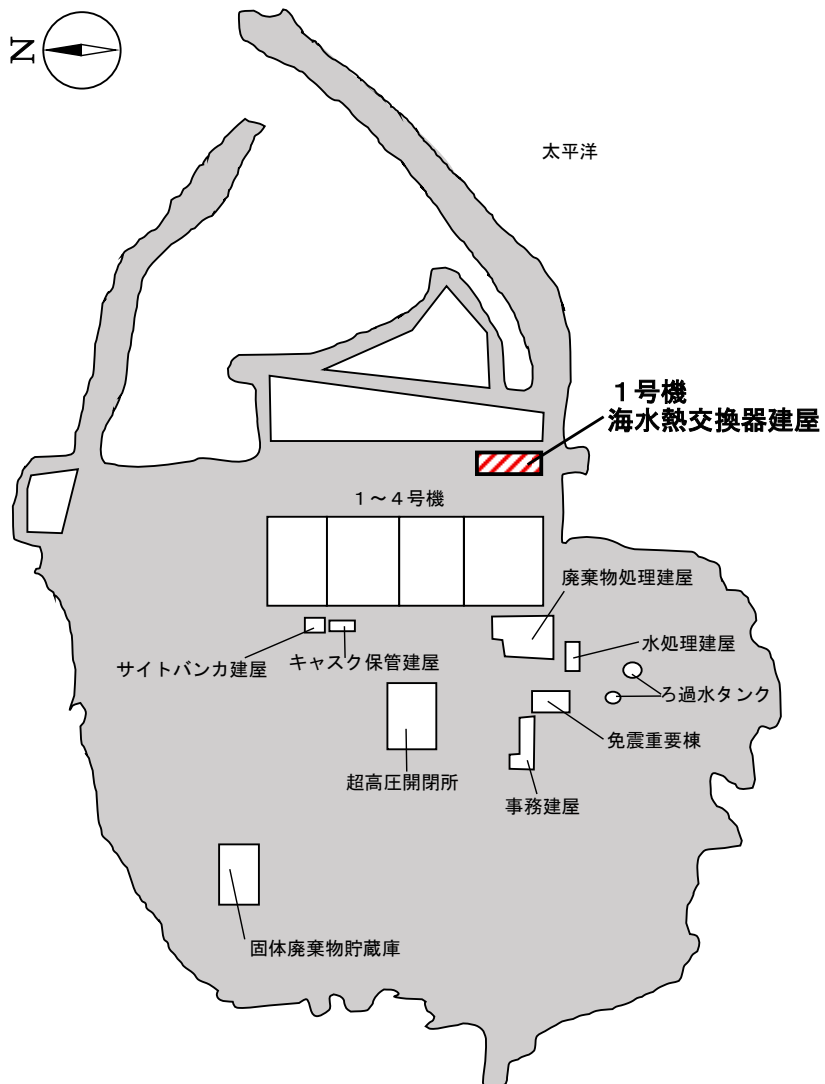
4 確認結果の概要

福島第二原子力発電所では、令和8年4月5日午後2時43分に、1号機原子炉補機冷却系第2中間ループポンプ^{※1}（以下「RCW2ポンプ」という。）（A系）に「過負荷／トリップ」の警報が発報した。東京電力による現場確認の結果、発煙が認められたため、同日午後3時8分に当該ポンプを停止し、1号機使用済燃料プールの冷却停止に至った。なお、発煙については、同日午後4時10分に、公設消防により非火災と判断された。

今回、県では、発生した事案の状況とともに、東京電力による使用済燃料プールの冷却再開に向けたRCW2ポンプの復旧作業について確認した。

※1 海水と熱交換した冷却水を循環させるためのポンプ。

- ・1号機海水熱交換器建屋に設置されているRCW2ポンプ（A系）を確認したところ、一部焦げた箇所が確認された。
- ・東京電力によると、当該ポンプの復旧の方針として、①現在休止している（予備の）RCW2ポンプ（B系）を稼働させる方法、②3号機の予備品を用いてRCW2ポンプ（A系）を復旧する方法等を検討しているとのことである。
- ・現地確認時は、協力企業の作業員が、RCW2ポンプ（B系）稼働に向けた作業を行っているところであった。



(図1) 福島第二原子力発電所構内概略図